

SAGA PREF.

Investor Relations Presentation

October 2024



佐賀県の財政状況

項目		R3 (決算)	R4 (決算)	R5 (決算)	R6 (当初予算)	評価	ページ
①	財政力指数 ※ () は全国平均	0.342 (0.500)	0.341 (0.494)	0.341 (未公表)	—	47都道府県中38位 (R4)	3
②	経常収支比率 (%) ※ () は全国平均	88.8 (87.3)	93.5 (92.6)	93.9 (未公表)	—	47都道府県中25位 (R4)	4
③	実質赤字比率 (%)	—	—	—	—	該当なし	7
④	連結実質赤字比率 (%)	—	—	—	—	該当なし	7
⑤	実質公債費比率 (%) ※ () は全国平均	8.4 (10.1)	8.9 (10.1)	9.7 (未公表)	—	47都道府県中17位 (R5速報)	5・7
⑥	将来負担比率 (%) ※ () は全国平均	117.0 (177.1)	133.3 (154.4)	135.3 (未公表)	—	47都道府県中14位 (R5速報)	6・7
⑦	資金不足比率 (%)	—	—	—	—	全ての事業会計で資金不足なし	7
⑧	歳入決算額 (億円)	6,091	6,137	5,556	5,206	新型コロナ、大型事業の完了に伴い令和5年度は減少	10
⑨	歳出決算額 (億円)	5,999	5,958	5,395	5,206	新型コロナ、大型事業の完了に伴い令和5年度は減少	11
⑩	投資的経費 (億円) ※経済対策除き	1,073	935	810	832	大型事業の完了に伴い令和5年度は減少	12
⑪	県債発行額 (億円)	813	769	527	430	大型事業の完了に伴い令和5年度は減少	13
⑫	県債残高 (億円)	7,432	7,602	7,508	7,336	令和4年度をピークに今後は減少していく見込	14
⑬	財政調整積立金残高 (億円) ※R6は年度末見込	187	180	178	160	令和8年度末の基金残高について約130億円を確保見込	15
⑭	市場公募債発行額 (億円) ※ () は、うち借換債	100	100	100 (60)	100 (60)	例年11月に100億円を発行	20

目次

1. 佐賀県の概要

佐賀県の概要	P. 1
--------	------

2. 佐賀県財政の状況

財政力指数	P. 3
経常収支比率	P. 4
実質公債費比率	P. 5
将来負担比率	P. 6
健全化比率等	P. 7
健全化判断比率の全国的なポジション	P. 8
普通会計決算の推移	P. 9
歳入決算の推移	P.10
歳出決算の推移	P.11
投資的経費の推移	P.12
県債発行額の推移	P.13
県債残高の推移	P.14
財源調整用基金	P.15
地方公会計に基づく財務諸表	P.16

3. 行財政運営計画

行財政運営計画2023	P.17
-------------	------

4. 公営企業等の状況

公営企業会計の財務状況	P.18
公社・第3セクターの状況	P.19

5. 佐賀県市場公募債について

発行概要等	P.20
-------	------

7. (参考)佐賀県の取組み

企業誘致	P. 21
稼げる農業の確立	P. 22
伊万里港の飛躍	P. 23
社会資本の整備	P. 24
SDGs	P. 25
県立大学	P. 26

1

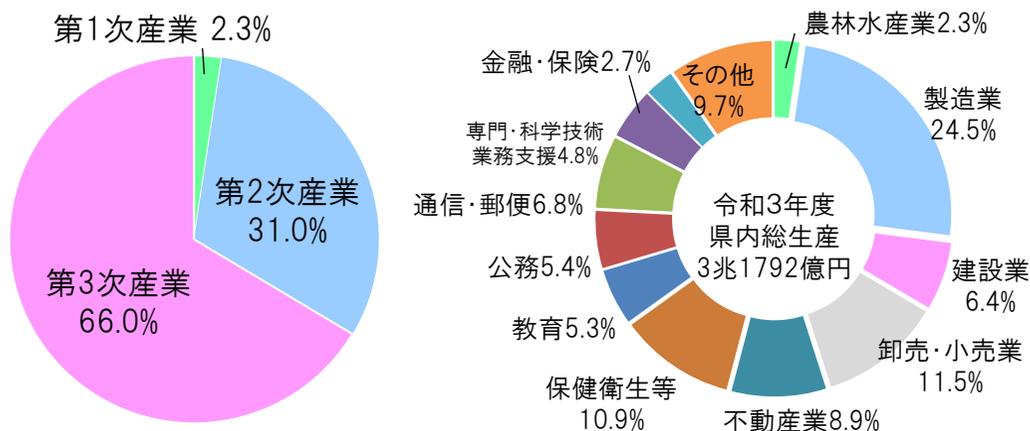
佐賀県の概要

佐賀県の概要①



人口	789,232人 (令和6年4月1日現在) 県統計分析課「佐賀県の推計人口」
面積	2,440.67km ² (令和6年1月1日現在) 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
市町	10市10町
県内総生産 (名目)	3兆1,792億円 県統計分析課「令和3年度県民経済計算」
1人あたり 県民所得	2,744千円 県統計分析課「令和3年度県民経済計算」

経済活動別 県内総生産



本県の 全国No.1

- 陶磁器製置物出荷額 1,346百万円
- シリコンウエハ出荷額 (表面研磨したもの) 178,096百万円
- ハウスみかん収穫量 6,180t
- 人工林率 (人工林面積/森林面積) 67%
- 胃がん検診受診率の伸び率 (平成28年から令和4年) 11.4ポイント

佐賀県の概要②

空港

本県は、九州の北西部に位置し、アジア大陸と近い距離にあります。

九州佐賀国際空港から、国際線として、上海便、ソウル便、台北便、西安便が運航しており、九州におけるゲートウェイとしての地位を確立することを目指しています。

鉄道

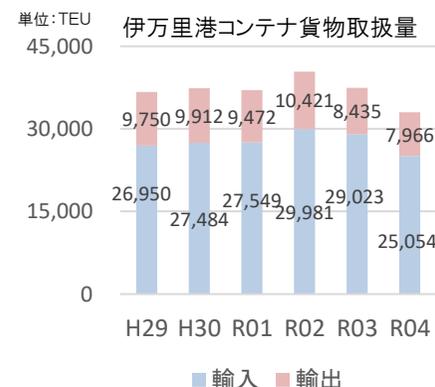
長崎本線と鹿児島本線が通るほか、九州新幹線により、本州及び九州内の主要都市への移動がスムーズになっています。令和4年9月には西九州新幹線(武雄温泉—長崎間)が開業しました。

新幹線 (最速) 新鳥栖⇄	博多	12分
	鹿児島中央	1時間11分
	広島	1時間18分
	新大阪	2時間47分

※山陽・九州直通新幹線「さくら」利用の場合

港湾

伊万里港では、令和2年に伊万里港の輸出入の取扱量が過去最高を記録。ガントリークレーンの増設などにより、アジアのゲートウェイ、国際貿易港として整備を進めています。



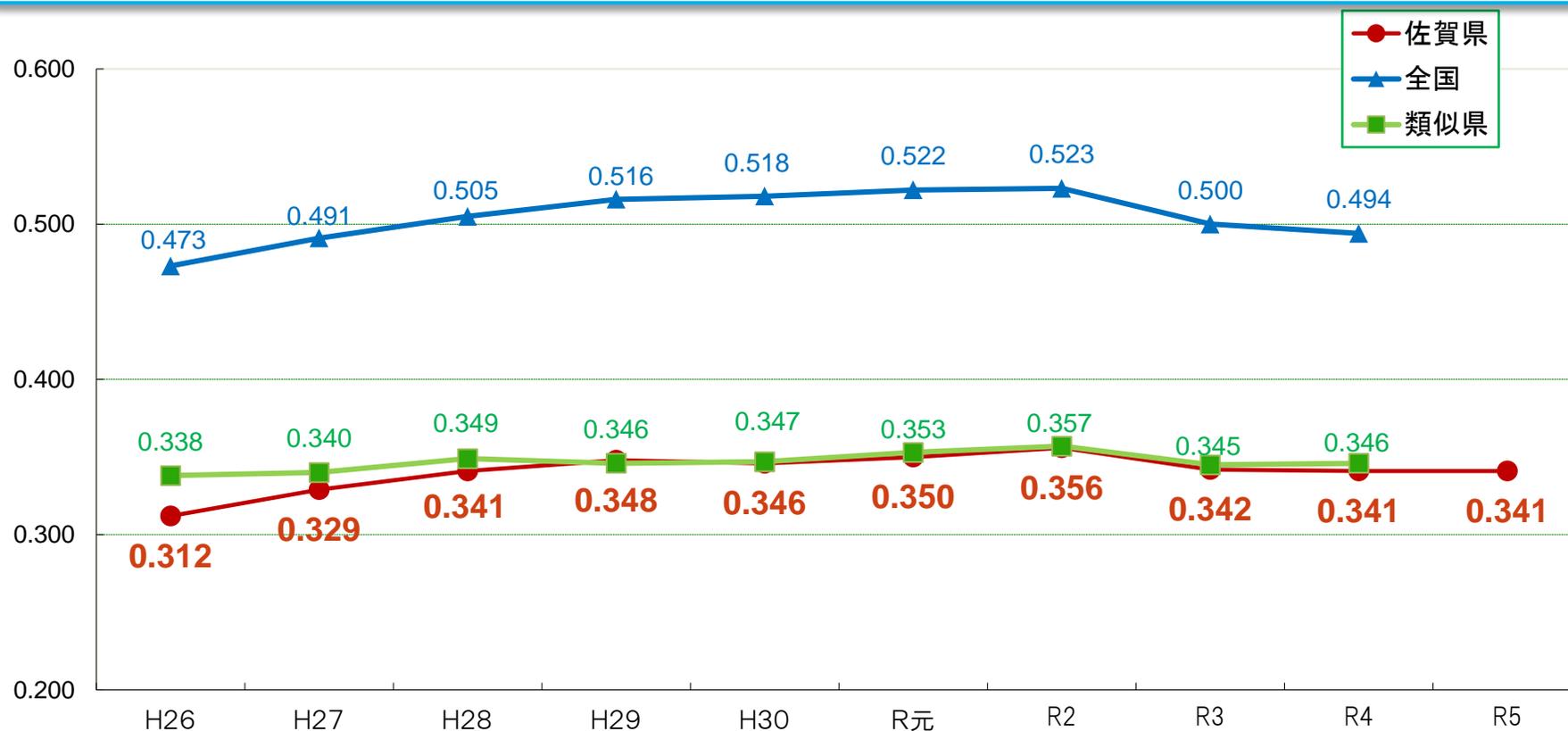
※1 運航見合わせ中(～未定)

2

佐賀県財政の状況

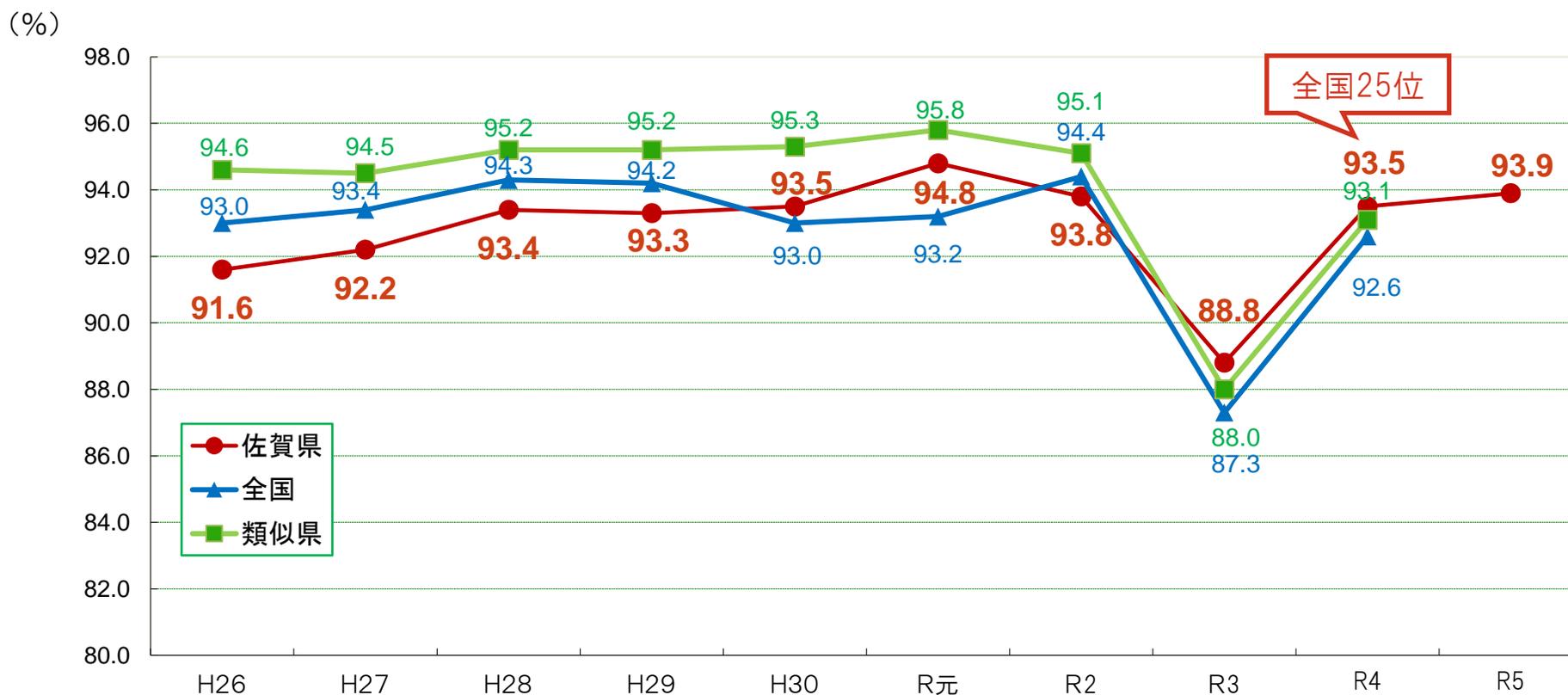
財政力指数

- 地方公共団体の財政力を表す指標で、1に近づくほど財政力が強いとされています。
- 本県は、類似県と同程度の値で推移しています。
- 令和4年度では、47都道府県中38位となっています。



経常収支比率

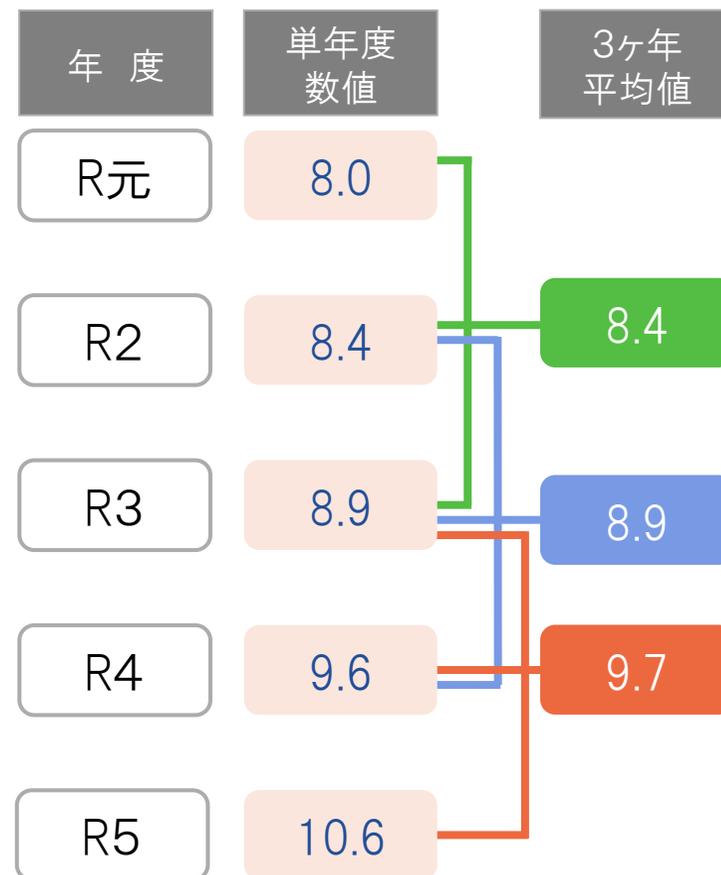
- 財政構造の弾力性を示す指標で、比率が低いほど行政需要に弾力的に対応できます。
- 令和4年度では、47都道府県中、良いほうから25位となっています。



実質公債費比率

- 実質的な公債費(地方債の元利償還金)が財政に及ぼす負担を表すものです。
- 令和5年度では、都道府県中、良いほうから第17位となっています。(速報)

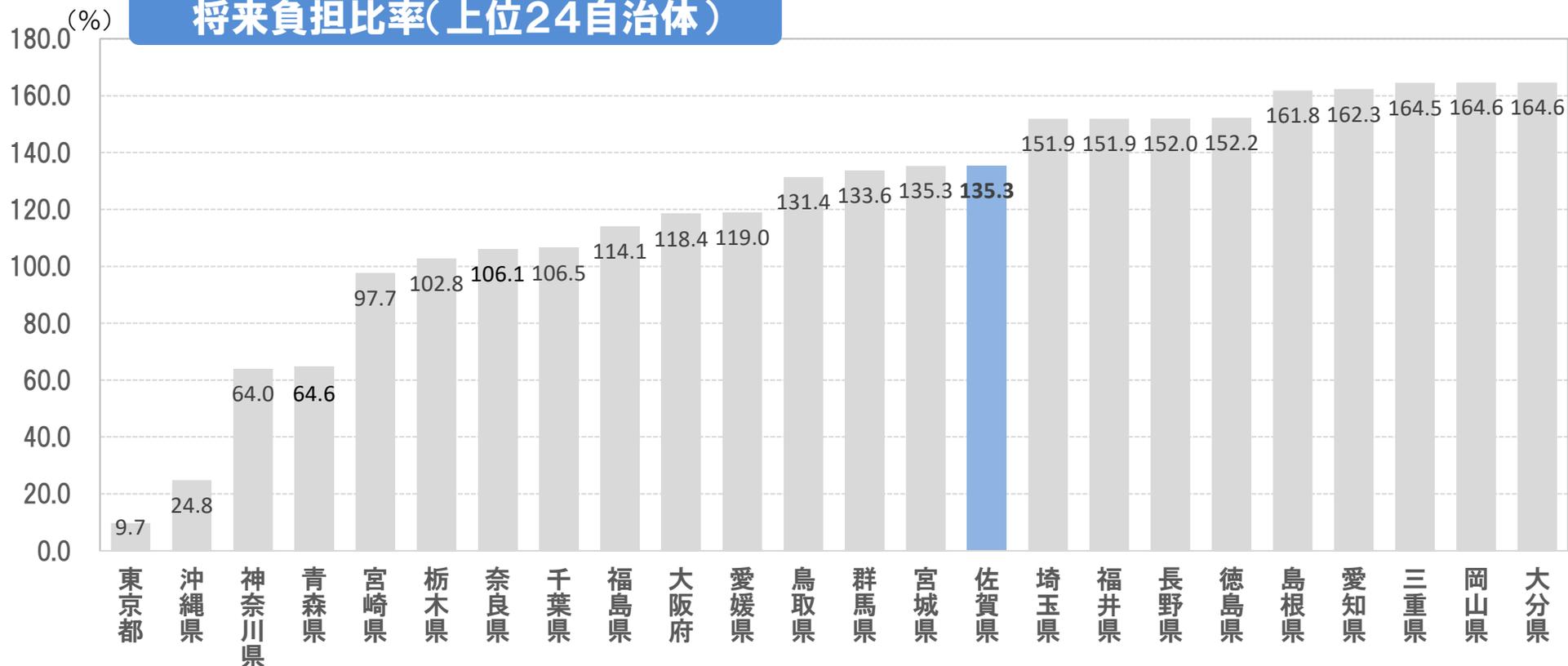
指標名		R3	R4	R5
実質公債費 比率	本県	8.4	8.9	9.7
	類似 団体	10.7	10.7	(未公表)
	全 国	10.1	10.1	(未公表)



将来負担比率

- 公営企業、出資法人等を含めた一般会計等が将来負担すべき実質的負債額の標準財政規模に対する比率を表すものです。
- 令和5年度では、都道府県中、良いほうから第14位となっています。(速報)

将来負担比率(上位24自治体)



健全化判断比率等(令和5年度決算)

健全化判断比率

(単位:%)

指標名	R5		R4			早期健全化 基準	財政再生 基準
	本県	順位	本県	全国	順位		
実質赤字比率	—	—	—	—	—	3.75	5.0
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	8.75	15.0
実質公債費比率	9.7	17(速報)	8.9	10.1	10	25.0	35.0
将来負担比率	135.3	14(速報)	133.3	154.4	13	400.0	—

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率がないため「—」で記載

資金不足比率

(単位:%)

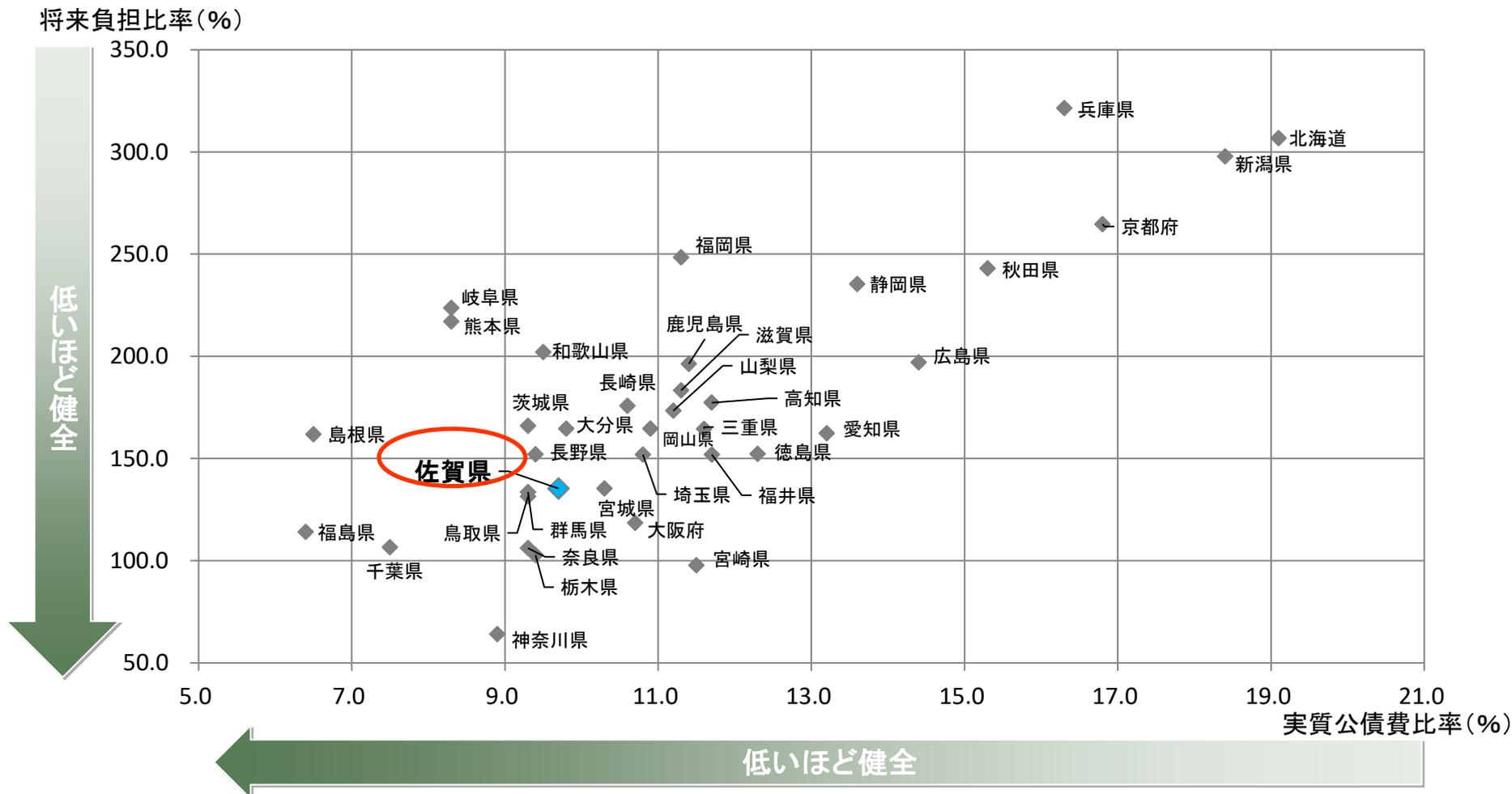
事業会計	本県	経営健全化 基準
佐賀県工業用水道事業会計	—	20.0
佐賀県港湾整備事業特別会計	—	20.0
佐賀県産業用地造成事業特別会計	—	20.0

(※)資金不足がないため「—」で記載

全ての
事業会計で、
資金不足なし

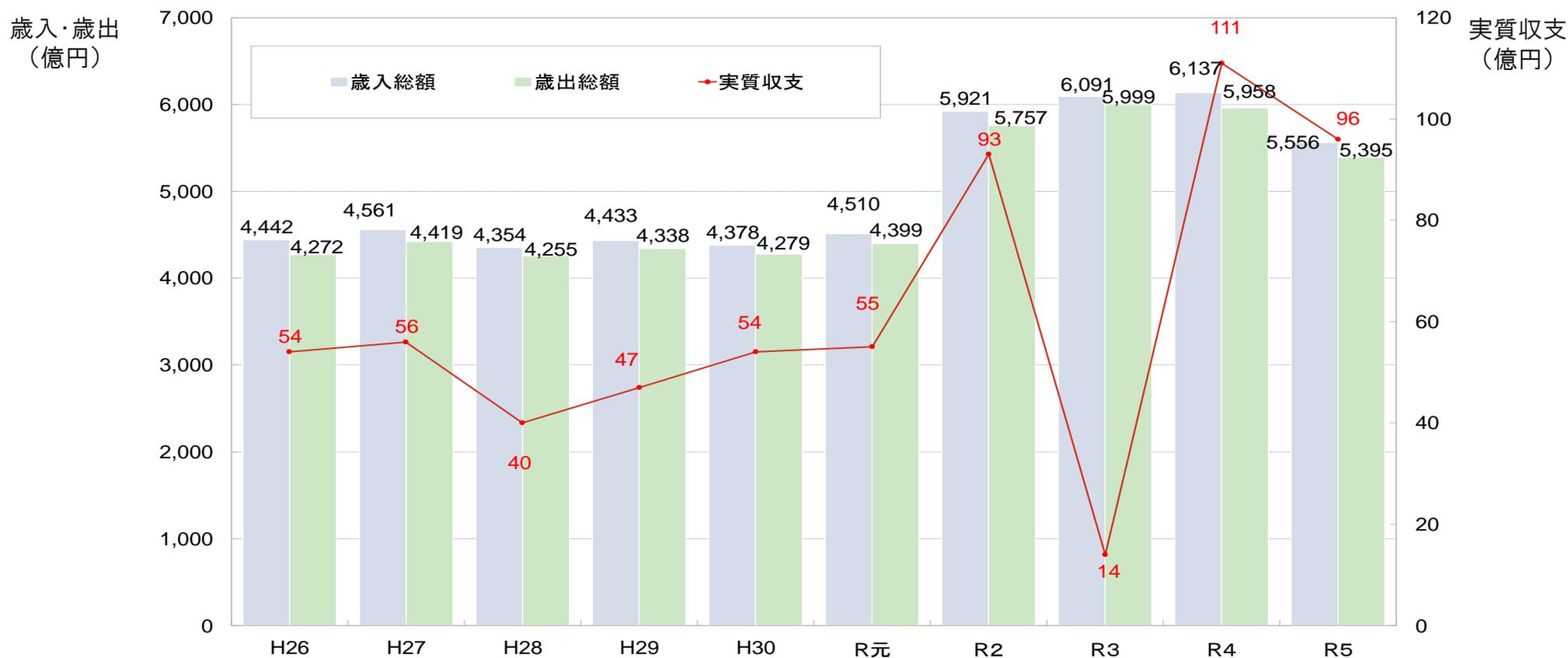
健全化判断比率の全国的なポジション(令和5年度決算)

本県は全国型市場公募地方債を発行している道府県40団体の中でも、健全な財政状況となっています。



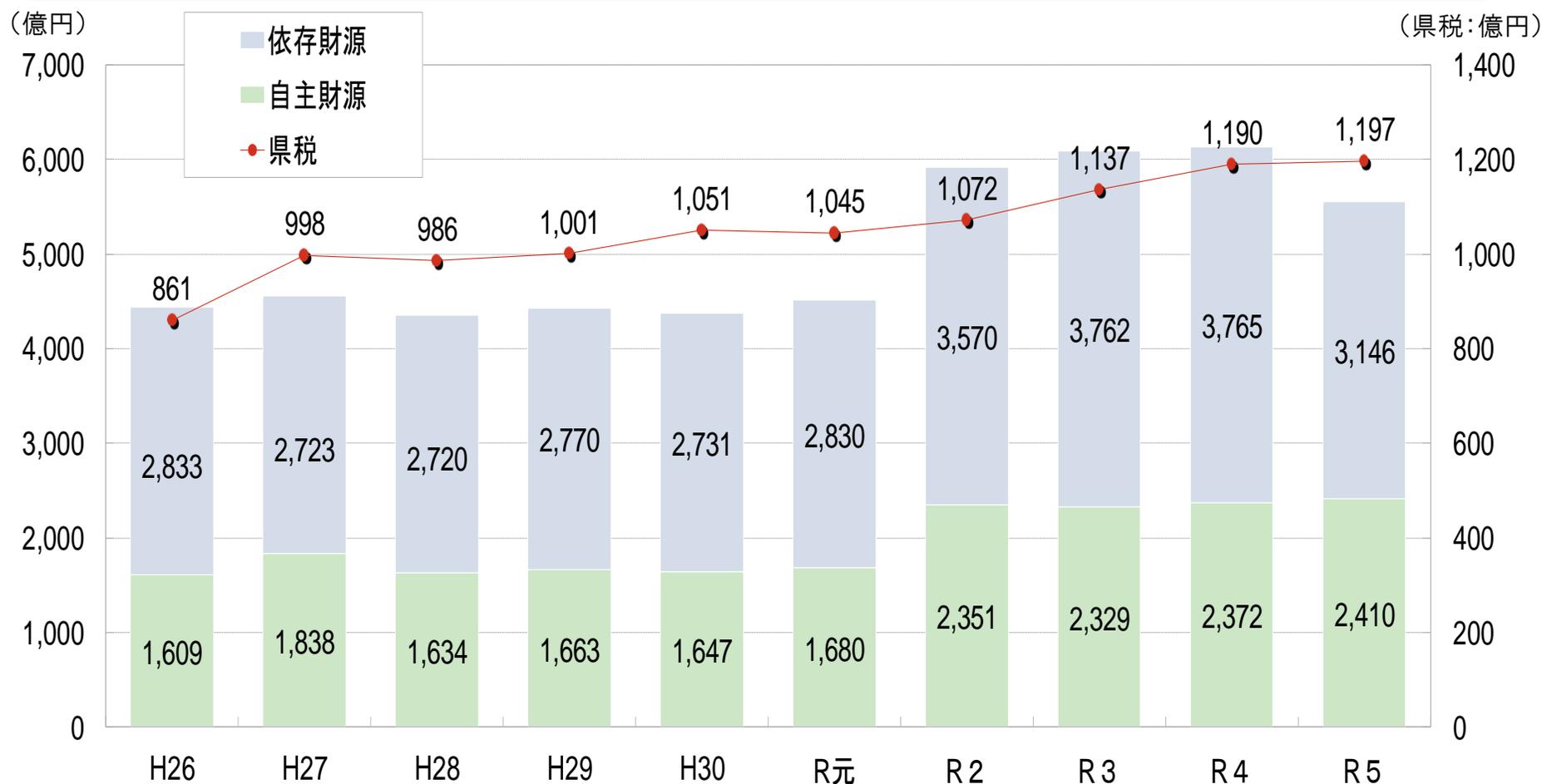
普通会計決算の推移

- 令和2年度以降の一連の新型コロナ対策により一時的に決算額は6,000億円まで増加しました。
- 現在も、コロナ関連施策(制度融資等)が一部残存していることにより決算額は高止まりで推移しています。
- 実質収支は昭和51年度以降、継続して黒字となっています。



歳入決算の推移

- 令和2年度以降の一連の新型コロナ対策による国庫支出金の増により、一時的に歳入決算額は増加しました。
- なお、自主財源の比率は現在4割程度で推移しています。



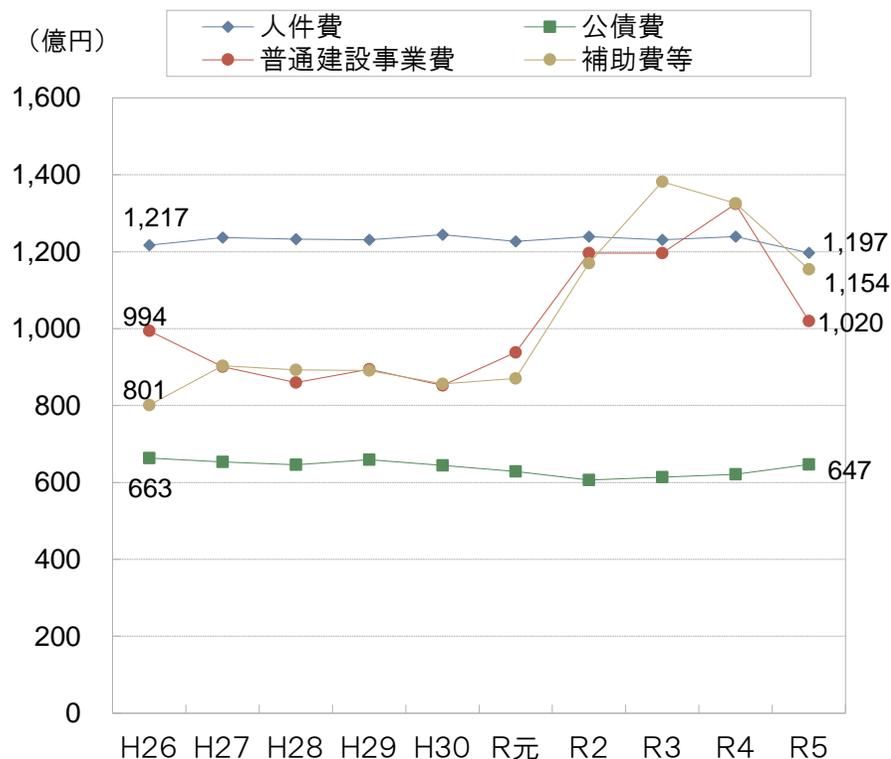
歳出決算の推移

- 令和2年度以降の一連の新型コロナ対策やSAGAサンライズパーク整備等の大型事業の実施により、一時的に歳出決算額は増加しました。
- 現在も、コロナ関連施策(制度融資等)が一部残存していることにより歳出決算額は高止まりで推移しています。

性質別の歳出決算の推移

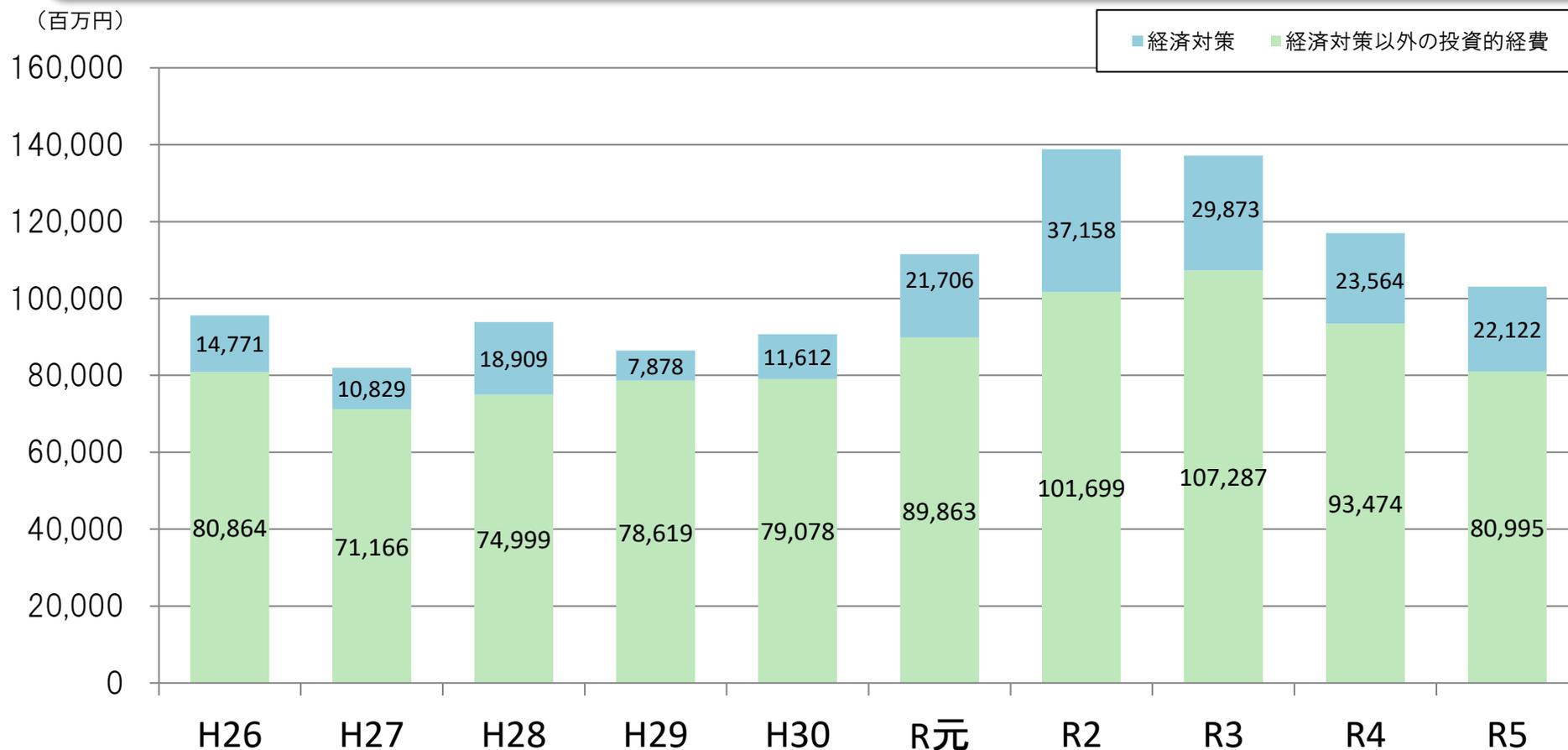


主な経費の推移



投資的経費の推移

- 経済対策を除いた投資的経費は、令和2年度から本格化したSAGAサンライズパーク整備等大型事業の実施により1,000億円程度まで増加しましたが、現在はそれらの整備完了により令和元年以前と同水準となっています。

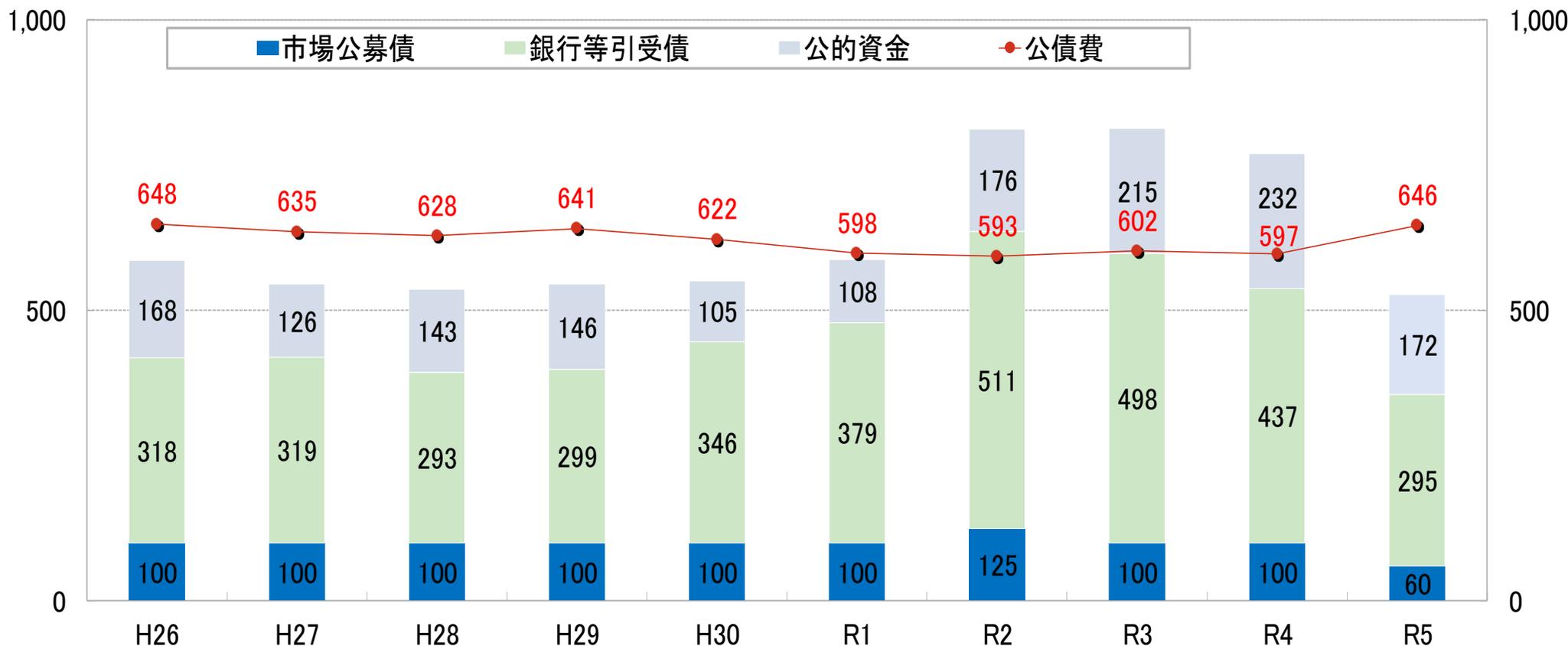


県債発行額の推移

- 令和2年度から本格化したSAGAサンライズパーク整備等大型事業の実施により800億円程度まで増加しましたが、現在はそれらの整備完了により令和元年以前と同水準となっています。
- 資金調達の多様化を図っており、資金区分は、民間資金の割合が高くなってきています。

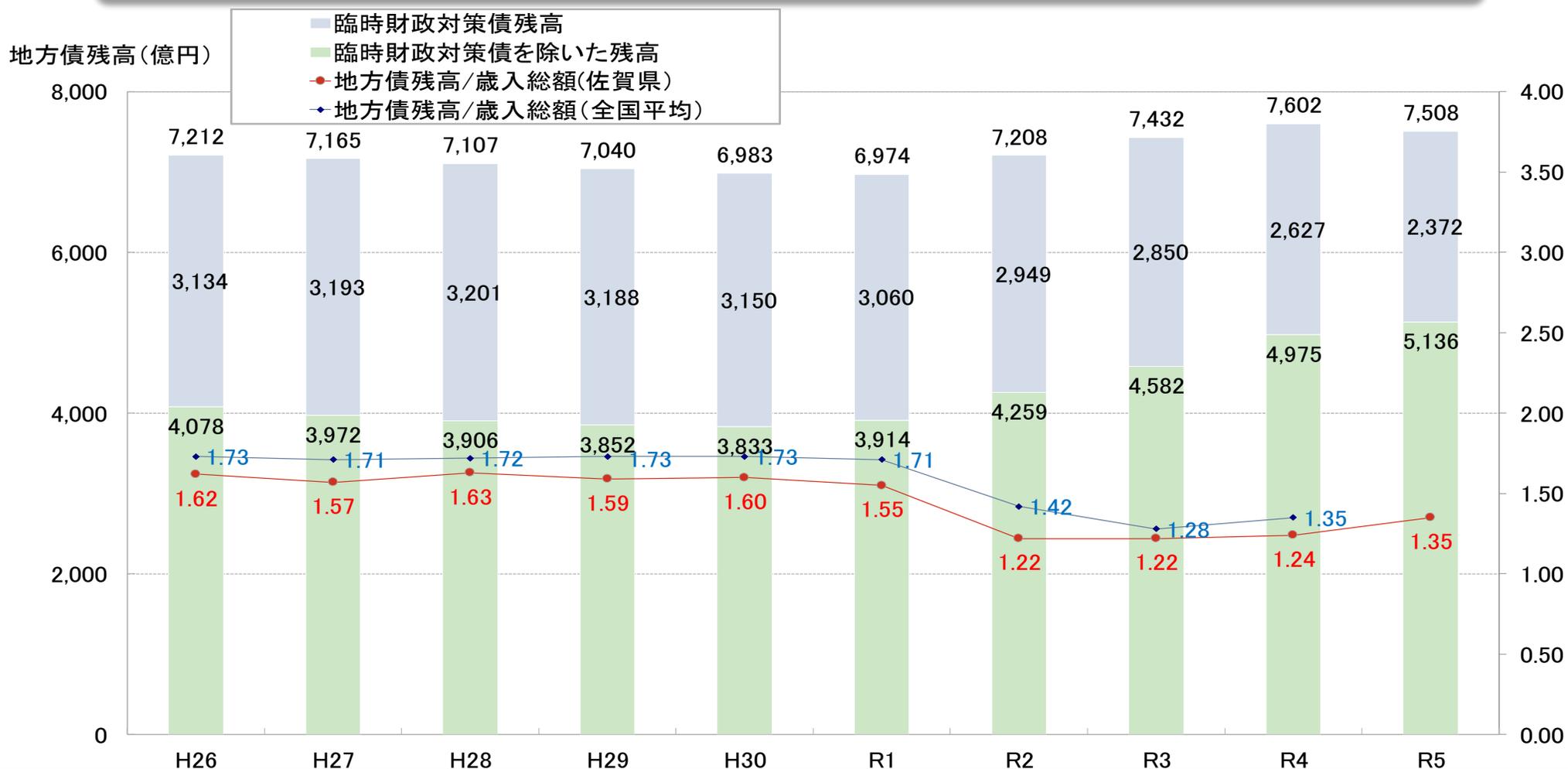
発行額(億円)

公債費(億円)



県債残高の推移

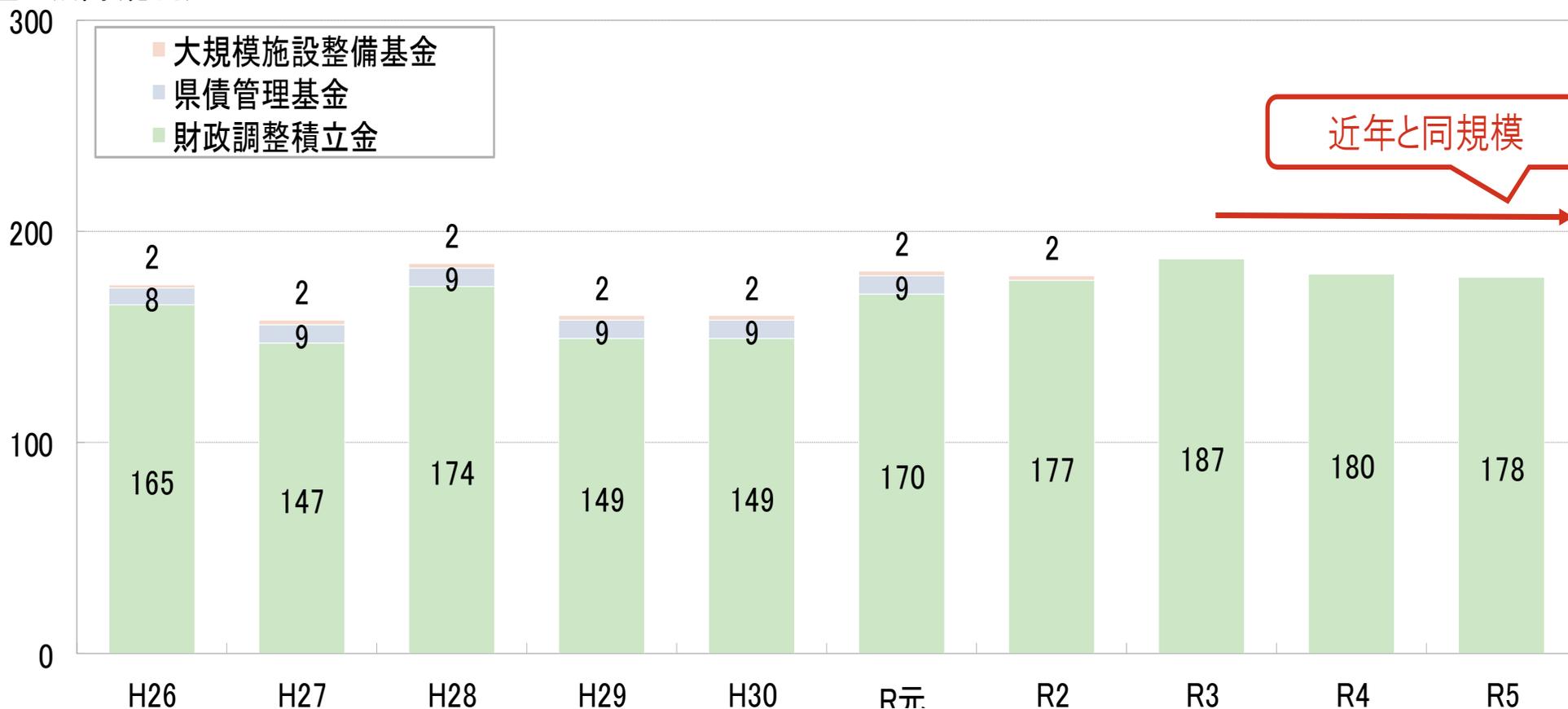
- 県債残高は大型事業の実施により令和4年度がピークとなっています。今後は減少していく見込みです。



財政調整積立金の残高

- 令和5年度末の基金残高は178億円となっており、近年と同規模の額を確保しています。

基金残高(億円)



令和4年度決算に係る貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額			科目	金額		
	R03年度	R04年度	増減		R03年度	R04年度	増減
【資産の部】				【負債の部】	854,532	870,651	16,119
固定資産	1,513,447	1,488,571	△24,876	固定負債	782,631	795,805	13,174
有形固定資産	1,392,783	1,370,224	△22,559	地方債	683,870	698,827	14,957
事業用資産	234,018	251,171	17,153	退職手当引当金	97,549	95,960	△1,589
土地	102,115	102,273	158	損失補償等引当金	304	388	84
建物	73,775	60,569	△13,206	その他	908	630	△278
工作物	7,908	17,363	9,455				
その他	50,220	10,397	△39,823				
インフラ資産	1,144,730	1,103,597	△41,133	流動負債	71,901	74,847	2,946
土地	327,338	330,314	2,976	1年以内償還予定地方債	59,928	62,118	2,190
建物	1,598	2,427	829	未払金	185	149	△36
工作物	755,976	735,129	△20,847	賞与等引当金	8,671	8,914	243
その他	59,818	35,727	△24,091	預り金	2,907	3,554	647
物品	14,035	15,456	1,421	その他	210	110	△100
無形固定資産	263	465	202				
投資その他の資産	120,401	117,883	△2,518	【純資産の部】	694,300	661,375	△32,925
投資及び出資金	20,938	20,877	△61	固定資産等形成分	1,535,991	1,375,362	△160,629
長期延滞債権	2,298	2,303	5	余剰分(不足分)	△841,691	△713,987	127,704
長期貸付金	19,378	17,559	△1,819				
基金	77,780	77,263	△517				
その他	58	44	△14				
徴収不能引当金	△51	△164	△113				
流動資産	35,385	43,455	8,070				
現金預金	12,292	21,472	9,180				
短期貸付金	3,803	3,500	△303				
基金	18,741	18,004	△737				
その他	550	479	△71				
資産合計	1,548,832	1,532,027	△16,805	負債及び純資産合計	1,548,832	1,532,027	△16,805

※四捨五入の関係で合計額が一致しない場合があります。

※事業用資産及びインフラ資産の「建物」「工作物」「その他」並びに物品は、減価償却累計額控除後の額です。

3

行財政運営計画

行財政運営計画2023(R5~R8年度)

時代に即した様々な施策を時機を逃さず実施していくため、県政運営の土台となる行財政運営を強化。

効率的かつ効果的な行政運営

- 1 新たな価値を生み出す組織づくり
- 2 多様な人材の確保・育成
- 3 行政デジタル化の推進

安定的かつ弾力的な財政運営

- 1 歳入確保対策の強化
 - (1) 財源の獲得
 - (2) 自主財源の確保
- 2 徹底した歳出の見直し
- 3 持続可能で柔軟な財政構造の確立

持続可能で柔軟な財政構造の確立

※R6. 9月試算 (単位: 億円)

	R5末	R6末	R7末	R8末
財政調整積立金残高	178	160	140	130※

※標準財政規模の5%程度を目標

収支改善対策 (R5~R8年度)

収支改善対策		金額
財源の獲得	○地方創生関連交付金の採択額 ○ふるさと納税寄附額	84億円程度
自主財源の確保	○県税の未収額削減 ○未利用財産の売却・貸付、 広告収入	7億円程度

4

公営企業等の状況

令和5年度決算に係る公営企業会計の財務状況

公営企業(病院事業、工業用水道、産業用地、港湾整備)は、大きな資金不足は生じておらず、健全な経営状況となっています。

(単位:百万円)

会計名	経常 収益 A	経常 費用 B	経常損益 C (A-B)	純損益	企業債 (地方債) 現在高
佐賀県医療センター好生館 貸付金特別会計	10	10	0	0	498
佐賀県工業用水道 事業会計	389	407	△18	△19	4
佐賀県港湾整備 事業特別会計	297	151	146	416	4,211
佐賀県産業用地 造成事業特別会計	610	41	569	1	2,797

※R5決算における数値

※佐賀県立医療センター好生館貸付金特別会計は、公営企業会計分のみ記載(普通企業会計分は除く)

公社・第三セクターの財務状況

公社の状況

土地開発公社及び道路公社は、健全に運営されています。

(単位:百万円)

	土地開発公社			道路公社		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
貸借対照表						
資産	1,697	1,683	1,692	28,506	28,811	29,102
負債	50	32	34	18,616	18,921	19,212
資本	1,647	1,651	1,658	9,890	9,890	9,890
損益計算書						
経常損益	2	4	8	0	0	0
当期損益	2	4	8	0	0	0

第三セクターの状況

第三セクターについては、半数以上の団体の運営状況は特段問題ありませんが、一部、赤字団体においては、事業の見直しや経営改善に向けた取組が進められており、県としても必要な関与をしています。

(単位:百万円)

	経常損益	純資産又は正味資産	県からの出資金	県からの補助金
全団体 (26団体)	131	32,061	7,776	3,649
赤字団体 (14団体)	△183	11,570	3,868	1,778

※総出資額に占める佐賀県からの出資割合が25%以上の団体について集計

5

佐賀県市場公募債について

発行概要等

市場公募債の令和6年度発行計画

発行額 100億円

償還年限 10年(満期一括)

条件決定日 令和6年11月13日

発行日 令和6年11月29日

個人向販売 SMBC日興証券(株)

シ団構成メンバー

(%)

金融機関名	シェア	証券会社名	シェア
(株)佐賀銀行	21.0	SMBC日興証券(株)	13.0
(株)みずほ銀行	19.0	大和証券(株)	11.0
(株)佐賀共栄銀行	2.0	野村証券(株)	11.0
佐賀信用金庫	1.0	みずほ証券(株)	8.0
唐津信用金庫	1.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	5.0
伊万里信用金庫	1.0	岡三証券(株)	1.0
九州ひぜん信用金庫	1.0	しんきん証券(株)	1.0
(株)あおぞら銀行	1.0	東海東京証券(株)	1.0
(株)SBI新生銀行	1.0		
(株)三井住友銀行	1.0		

6

(参考)本県の取組み

産業の活力を未来につなぐ

半導体産業やコスメティック産業など本県に強みや素地のある分野や各産業の成長に必要な不可欠となっているデジタル関連企業など、本県の発展を牽引し、若者をはじめとする県民が活躍できる多様な企業の誘致に取り組んでいます。



和多屋別荘で
多数のIT企業が
オフィスを開設



「磨き、稼ぎ、未来へつながるさが農業・農村」の実現

収量や品質の向上、経営の多角化等により経営力を「磨く」とともに、「稼ぐ」経営体を数多く創出し、そうしたことを新規就農者や担い手の確保・育成に「つなげていく」といった好循環を生み出していきます。

そのために、所得向上が期待される園芸農業を強力に推進する「さが園芸888運動」を展開するとともに、当県が誇る銘柄牛「佐賀牛」の生産基盤の強化や輸出の促進などにも取り組むことで、農業産出額を1,307億円(R4)から1,580億円(R14)に伸ばすことを目指しています。

<主な取組等>

R4園芸産出額: 660億円
(86億円UP<R3比>)

さが園芸888運動

園芸農業の産出額を令和10年までに888億円に拡大することを目標に、県や市町、農協、生産者が一丸となって展開中。

<希望者が安心して就農できる体制を拡大中!>

就農希望者に地域の農家が栽培技術等を指導する研修体制

(トレーナー制)

の構築や研修農場

(ミニトレーニングファーム)の整備、研修終了後の就農地となる園芸団地の整備を進めています。



佐賀牛を一気通貫で世界へ

令和6年4月から、佐賀牛のもととなる子牛の生産拠点「佐賀牛いろはファーム」から子牛の出荷が始まるとともに、同年7月から、高性能食肉センター「KAKEHASHI」からの対米輸出を開始しました。「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産を拡大し、佐賀から直接世界へ届けていきます。



全国に誇る農産物



「いちごさん」



かんきつ新品種
「にじゅうまる」



「佐賀牛」



「さがびより」

伊万里港

港湾機能の強化

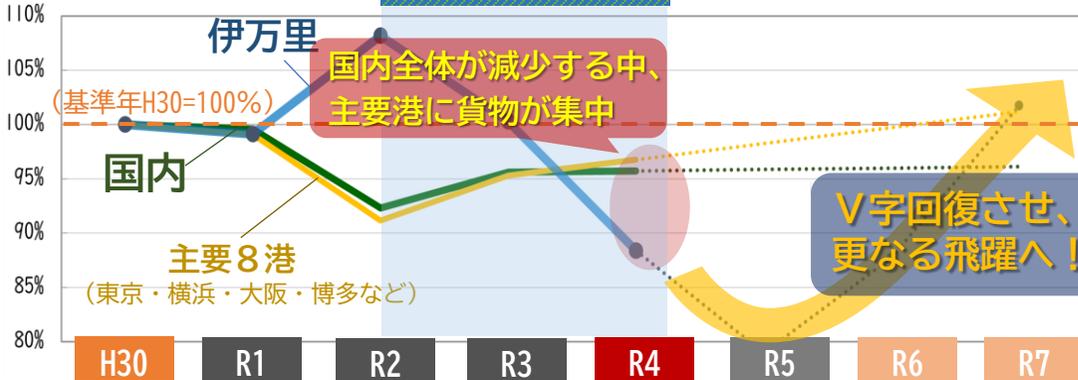


助成制度



国内のコンテナ取扱状況

コロナの影響等で
取扱量が減少



伊万里港の“新規利用者”の開拓

1 新規荷主へのトライアル助成 荷主へのインセンティブ

対象 伊万里港を新規利用し、今後継続的な利用が見込まれる荷主
助成額 輸送費等の1/2

■ 荷主が港を選択している場合



2 物流業者への集荷助成 物流業者へのインセンティブ

対象 伊万里港を新規利用する荷主を開拓する物流業者
助成額 貨物1TEUあたり1万円

■ 物流業者が港を選択している場合(荷主は輸送を一任)



※この場合でも荷主は「1」の助成を利用可

他港からの転換を促進

さがを支える 社会資本の整備を進めています

国事業	■
県事業	■

久原臨港道路



4車線化に向けた事業推進

土砂災害防止対策



【今坂地区】
砂防施設の整備等

城原川ダム



用地補償に着手

吉野ヶ里歴史公園



官民連携による交流拠点施設、
キャンプフィールド等の整備

西九州道 伊万里道路



(仮称)伊万里中央ICへ
向けた事業推進

六角川河川激特事業



牛津川遊水地の整備等

有沿道 福富鹿島道路



調査・設計をさらに推進

有明海沿岸道路

有沿道 大川佐賀道路



諸富ICからさらに先へ事業推進

Tゾーン 佐賀福富道路・佐賀道路



早期整備に向けた事業推進

地球温暖化対策を普段の生活に取り入れる

一人一人の選択が地球環境を変える

脱炭素型ライフスタイルの推進

歩くライフスタイル推進

MaaSによる公共交通の利用促進

バス無料DAY
佐賀市内降車×2日間

1日バス乗り放題デジタルチケット
SAGA2024来場者等に発行

歩こう。佐賀県。



歩くイベント開催
サンライズパーク～ARKS

プロスポーツチームとの協働

ゼロカーボン
チャレンジマッチ



リユーズブルカップ
によるごみ削減

家庭での取組を促進



エアコン 設定温度を1℃上げるだけで
ひと夏1000円以上お得に

テレビ番組で脱炭素
ライフスタイルの情報発信

海洋プラスチック問題の解決に向けて

世界初!

“波戸岬エリア”に海洋プラ問題のプラットフォーム
世界海洋プラスチックセンター(仮称)を
整備します



海洋プラスチック専門の
教育・体験・交流施設

海洋プラ問題の解決を目指し

佐賀から世界に発信

— SCHEDULE —

R6年度
基本設計・実施設計

R7年度
造成・建築工事

R8年度
オープン(予定)

佐賀県立大学(仮称)

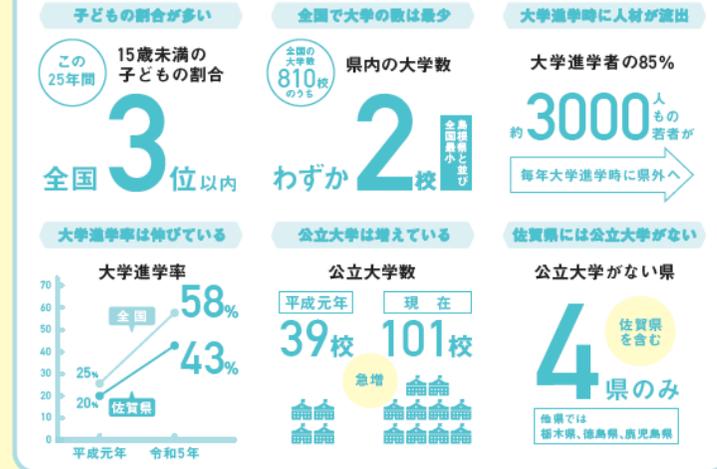
新しい時代をひらく学びを、SAGAから。



佐賀県立大学(仮称)は、佐賀県で学び、佐賀県の未来を創造する人材を育成する教育拠点を目指しています。この場所で、自らの翼を鍛え、未来を見わたす鳥瞰的な視点を手にいれよう。まだ見ぬ佐賀県の未来とともに。これからの時代をつくるみなさんが、大きな成長を遂げられる新しい大学を構想中です。

佐賀県

佐賀県の学びの現状



県内高校生にとって進路の選択肢が増える
地域で活躍する人材の育成と確保につながる
大学設立による様々な効果
企業や他大学との連携でイノベーションを創出
他大学や小中高を含む県内学習の活性化



具体化に向けて専門家の参画も得て、カリキュラムなどの検討を進めています。これからもアップデートしていきます。

佐賀県

佐賀県 政策部 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1-59
TEL.0952-25-7494 FAX.0952-25-7577 e-mail:kendaiteam@pref.saga.lg.jp
この情報は2024年5月時点のものです。今後の検討の進捗により変更になる可能性があります。

© 2024 Saga Prefecture.

お問い合わせ先

佐賀県 総務部 財政課 公債担当

〒840-8570 佐賀県 佐賀市 城内 1-1-59

TEL : 0952-25-7013 FAX : 0952-25-7292

✉ zaisei@pref.saga.lg.jp